



グラフ

一般社団法人GRAF 活動報告書

2025年度版

代表のメッセージ 02

1 GRAFの紹介 03-08

2 GRAFの目的・理念 09-12

3 GRAFの活動と成果 13-28

おわりに 29

【お断り】本資料における団体名・
個人名は原則「敬称略」で記載して
います。あらかじめご了承ください。

01

食が「私たち」のものだからこそ。

年 末の恒例行事といえば、「今年の漢字」の発表ではないでしょうか。去る12月12日、本年を象徴する一文字として選ばれたのは「熊」でした。私は秋田在住。秋口から冬にかけて連日「クマ出没」のニュースを見聞きしていた身からすれば、いつの年にも増して納得感のある選出だったことは言うまでもありません。

では、このGRAFの2025年を象徴する漢字は一体何か。そう自問したとき、真っ先に浮かんだのは「共」でした。

今 年度、最初におこなった対外的な活動は「食事会」の実施です。イベント当日は20名近い学生が集まり、調理や食事を共にすることで食卓に温かい交流と笑顔が生まれました。

各取組やイベントの紹介は、16ページ目以降に掲載しております。具体的な活動内容や大まかな1年間の動き、取組による成果などを写真を添えてまとめています。なお、各ページの編集は、実際に活動にあたっていたメンバーが担当しています。

こ の企画は神奈川県立保健福祉大学の食育サークル「シーラボ☆」の皆様と共同開催したものです。この「共創」の姿勢は、一年を通じてあらゆる活動に共通していました。「PEACH COFFEE」や「横浜国立大学教育学部附属特別支援学校」と取り組んでいるコーヒーかすのアップサイクル。「NPO法人空き家サポートネットワーク」と一緒に進めている、山形県河北町の魅力発信と規格外品の削減を目的としたプロジェクト。「立命館大学大阪いばらきキャンパス 森知晴 ゼミ」と連携して実施したフードドライブ。さらにインタビュー企画では、食料支援の最前線に立つ方々のリアルな声を聴き、記事や投稿にまとめることで、各団体の取組とその背後にある想いの発信に努めて参りました。

団 体内部においても、大きな変化がありました。それは、メンバーが増えたことです。現在、昨年末と比較して倍の18名が在籍しています。私たちが掲げる団体理念「食から笑みを。」に共感し、団体の一員として活動することを選んでくれた仲間が増えることは、代表としてこの上なく誇らしく、喜ばしいことでした。全国各地に住む多様なバックグラウンドを持つ人が集まったからこそ、より多角的に活動を展開できた。そんな1年となりました。

2 025年は、地域や世代、そして組織の垣根を超えた多くの方々と共に歩んだ年でした。日頃から私たちの活動を支援・応援してくださる皆様に、心より御礼申し上げます。来年も、皆様の「食」がより充実したものとなるように、そして「食」から一つでも多くの笑顔を灯せるように、メンバー一同、活動に励んでいく所存です。

それでは、本年の成果をまとめたこの報告書を最後までお楽しみください。 一般社団法人GRAF 代表理事 小野 佑真



GRAFの 紹介



団体基本情報	04
設立者紹介	05
設立の背景	06
活動の沿革	07-08

団体基本情報

食から笑みを。を団体理念に掲げ、食品のロスなどの食に関する社会課題の解決と、すべての人が食を通して笑顔になれる社会の創造を目指している団体です。

「生産段階で発生するロスを減らすこと」

「フードバンクを周知したり、フードバンク間のネットワークを構築したりすること」

「食に関する課題を啓発すること」の3つを活動の柱に据え、現在は規格外品の販売・全国に点在するフードバンクが一覧できるサイトの制作・食料支援を行う方へのインタビュー・カードゲームの開発・コーヒーかすのアップサイクルなど、全国各地をフィールドに幅広い活動を展開しています。

所在地

神奈川県横浜市都筑区中川中央

設立日

立ち上げ：2021年8月1日 法人格取得：2022年5月9日

メンバー数

18人（2025年12月29日 現在）

創設者紹介



代表理事

小野 佑真

おの ゆうま

出身：秋田県秋田市
大学：managara大学 経済学部
年齢：22歳

趣味：ドラマを観ること プロ野球を観ること
特技：摺鉦（すりかね）を叩くこと
好きなアーティスト：Official髭男dism
最近ハマっていること：詩を創ること
行ってみたい場所：兼六園 フィンランド
好きな食べ物：カレー キウイ ざるそば



副代表理事

岡野 直樹

おかの なおき

出身：神奈川県横浜市
大学：Taylor's university
年齢：20歳

趣味：旅行 コーヒーを淹れること 温泉
特技：けん玉 顔と名前を覚えること
好きなアーティスト：RADWIMPS
最近ハマっていること：お酒の角打ち
行ってみたい場所：イタリア チェコ
好きな食べ物：おにぎり 唐揚げ マカロン

設立の背景

食品ロスの問題に関心を寄せていた小野（現 代表）と岡野（現 副代表）が高校の同好会を介して出会い、2021年夏に団体を立ち上げました。

岡野

小野

2019

中学校の生徒会活動で「SDGs」達成につながる取組を実施する

「世界の食料問題を解決する方法を考えてみる」ことがテーマの探究授業で、半年間のグループワークを通して「日本の外食産業における食品ロスを削減するにはどうすればよいか」を考え、プレゼンテーションをおこなう

2021

4月上旬 通信制高校内に「SDGs・環境問題同好会」を立ち上げる

アルバイト先のコンビニで大量の食品が捨てられる現場を目の当たりにする

岡野が立ち上げた同好会に参加する

6月中旬 同好会の活動の一環で、一緒に「食品ロス」について調べ始める

8月1日 任意団体「食品ロス削減プロジェクト」を立ち上げる

団体名の由来

団体名は「The Group for Reducing the Amount of Food loss」（訳：食品ロス削減に取り組む団体）に由来する。
英単語の頭文字を繋げて「GRAF」となった。

2022

5月9日 法人格を取得し、一般社団法人GRAF（グラフ）としての活動をスタートさせる

活動の沿革

〈2022年5月9日～2024年12月31日〉

- | | | |
|------|--------|--------------------------------------|
| 2022 | 9月25日 | 初の主催イベント「食品ロスを考える会」を開催する |
| | 12月16日 | 横浜市立東高校の「Premium Program」に初めて参加する |
| 2023 | 5月下旬 | 公式キャラクターの名前やデザインを決定する |
| | 9月23日 | イオンモール秋田で開かれた「SDGsフェス」に出展する |
| | 10月23日 | 秋田市で開催された「あきた食品ロス削減大作戦2023」に出展する |
| 2024 | 3月25日 | 1本目のインタビュー記事を公開する |
| | 8月25日 | オンラインイベント「食ロス団体交流会」を主催する |
| | 9月29日 | 「『食品のロス』ってなに？」がテーマのオンラインイベントを主催する |
| | 12月16日 | 横浜市立東高校の「Premium Program」に3年続けて参加をする |



ぐらくま

おにぎりとおっきョクグマがモチーフのキャラクター。
おにぎりは、コンビニ等での大量廃棄の代表例として、私たちの身近な食品のロスを表しています。おっきョクグマは地球温暖化の影響を受ける動物の代表例として、世界的な環境問題を示唆しています。

活動の沿革

〈2025年1月1日～2025年12月29日 現在〉

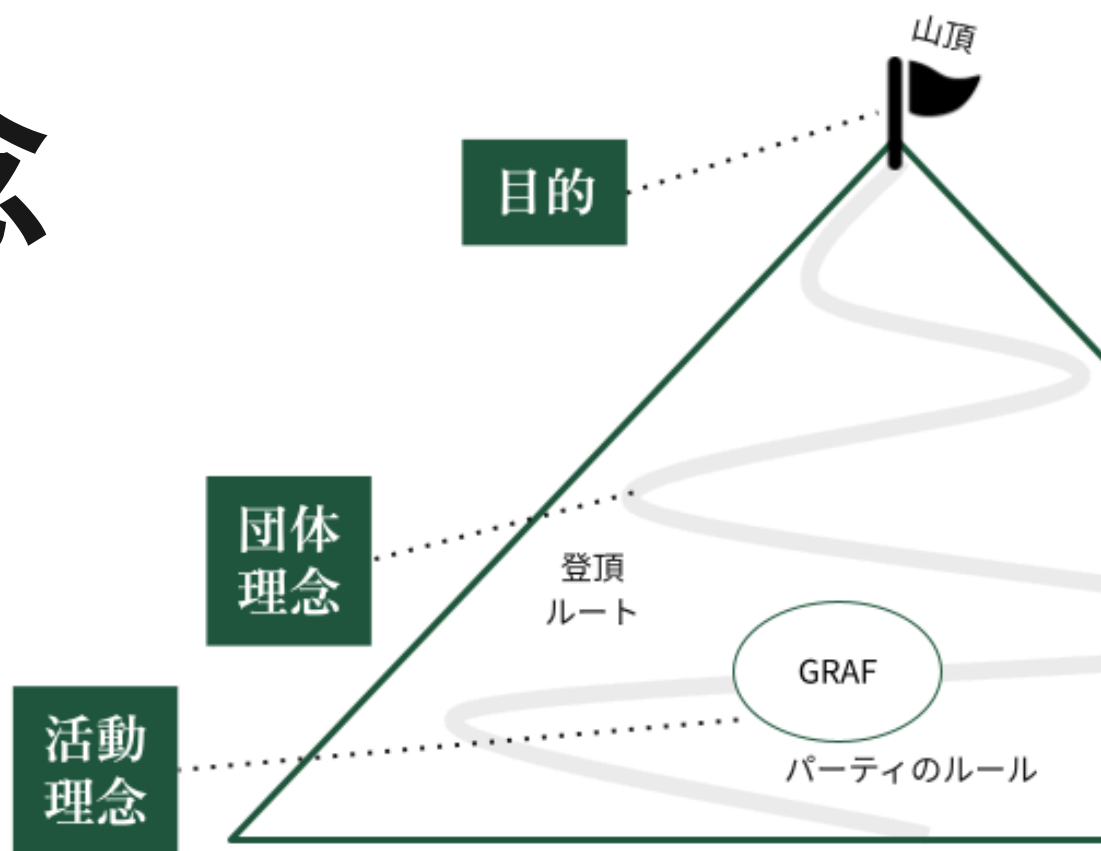
※下の数字が示しているのは「ページ番号」です

2025	2月8日	大学生を対象とした「食事会」を実施する	19
	2月24日	「学生団体交流FES vol.2」に参加し、最優秀賞をいただく	24
	3月31日	「ゲーム開発」の近況を報告する10本目のブログを投稿する	21
	5月4日	「全国のフードバンク一覧」に20団体目の情報を掲載する	17
	7月1-15日	立命館大学大阪いばらきキャンパスで「フードドライブ」を実施する	20
	7月14日	横浜国立大学教育学部 附属特別支援学校での授業がスタートする	23
	8月31日	10本目のインタビュー記事を公開する	18
	10月27-28日	二子玉川ストリートマーケット「ふたこ座」に初出店する	16
	12月10-12日	東京ビッグサイトで開催された「エコプロ2025」に参加する	27



GRAFの 目的・理念

団体の目的	10
団体理念	11
活動理念	12



団体の目的

〈私たちが実現したい社会〉

必然性（一般社団法人の設立において「目的」の策定は必須要件であること）と
有益性（今やるべきことが明確になる／将来的な戦略を立てられる／メンバーが同じ方向を
向いて行動できること）に基づいて、2つの目的を制定しています。



食品のロスを主とした
食に関する社会課題を解決する

人々が食を通して
笑顔になれる社会を創造する



団体理念

〈団体の存在意義・活動の方向性〉

団体理念は、団体がこうあるべきだという根本の考え、つまり「何のためにGRAFが存在するのか」「GRAFはどんな目的で活動を展開するのか」を表したものです。

次ページの活動理念は、活動がこうあるべきだという根本の考え、つまり「メンバーがどんなことを意識して行動すべきか」を表しています。

食から笑みを。 Smiles Through Food.

世の中には様々な要因で食事を楽しめない人がいます。
私たちは そんな人たちも笑顔で食事をとれる環境を創っていきます。

世の中には様々な食分野の課題があり、それによって困っている人がいます。
私たちは そんな食に関する課題・困りごとが解消された状態を目指します。

活動理念

〈メンバー全員が意識する基本的な価値観〉



Gratitude

— 感謝の気持ち

一緒に活動をしている仲間に対して感謝の気持ちをもって接すること。

活動を通して出会うすべての方々に敬意と感謝の気持ちをもって関わること。



Respect others

— 他者の尊重

相手の考えや価値観がたとえ自分と異なっていたとしてもその意見や考えを受け止める姿勢をもつこと。

周りの意見を尊重しながらも自分自身の考えや価値観も大切にすること。



Act Actively

— 自ら動く

誰かが動いてくれるのを待つのではなく自らが「ファーストペンギン」となって動くこと。

周囲の人も巻き込みながら積極的に動くこと。



Focus on Future

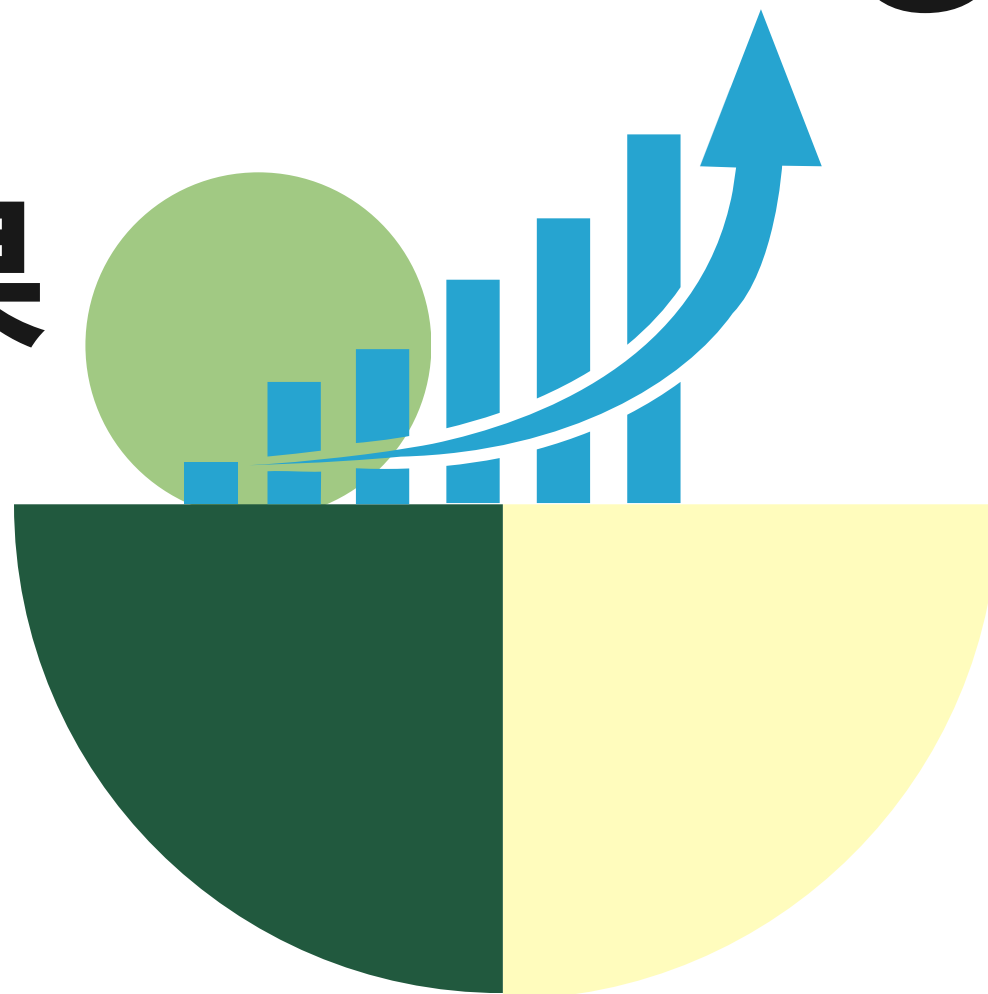
— よりよい未来のために

現状の課題に目を向けながら私たちの目的を達成することを第一に行動すること。

いまよりも「よい未来」を実現するためにあらゆる可能性を探っていくこと。



GRAFの 活動と成果



数字で振り返る	14
3つの事業内容	15
各チームの紹介	16-23
イベントの記録	24-27
財務情報	28-98

数字で振り返る



13

参加したイベントの数

24～27ページに
詳細を載せています



8

活動で訪れた都道府県の数



110

SNSでの投稿数

およそ

16ページに記載した
「規格外品」チーム
が店出しています



390

「ふたこ座」で販売した商品の点数

およそ



11

新たに加わったメンバーの人数

GoogleSearchConsoleの
「合計表示回数」より
引用しています



203,000

HPのインプレッション数

およそ

団体公式
キャラクター
ぐらくま



1,600

社内チャットで使われたキャラスタンプの総数

およそ

350

誰かの手に渡ったグッズの数

およそ

[販売している
グッズの一覧](#)

3つの事業内容

〈団体の軸となる取組〉

事業内容は、当法人の目的達成のための活動を端的に表したものです。
事業ごとに具体的な取組を考え、「チーム」と呼ばれる少人数のグループを形成しています。

1

生産段階で発生する
ロスの削減をする

規格外品

16

町と街を「食」で繋ぐ

コーヒーかす

23

捨てられるものに、新たな命を与える

2

フードバンクの周知と
ネットワークの構築をする

フードバンク一覧

17

全国の団体をまとめたサイトを作る

デザイン

22

分かりやすく、課題を発信する

3

食に関する課題の
啓発をする

食事会

19

誰かと食べる、喜びを。

フードドライブ

20

おすそわけでつながる、まちとあなた

※右上の数字が示しているのは「ページ番号」です

15

規格外品の販売

山形県河北町（かほくちょう）の魅力発信と農業の現場で発生する「規格外品」の削減を目的に、NPO法人空き家サポートネットワークと共同でマルシェへの出店をおこなっています。

チームの概要

チーム名	規格外品
メンバー数	7人（2025年12月29日 現在）
共同実施	NPO法人空き家サポートネットワーク
活動場所	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン ・二子玉川ライズ ガレリア
活動の目的・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消費者に「規格外品」を認知させ、消費者の購買を通して「規格外品」を減らす ・ 生産者、消費者、販売者の笑顔の輪を広げる

リンク集

[チーム紹介](#)
[1回目の出店報告〈Instagram〉](#)
[河北町訪問記（PDF）](#)
[1回目の出店報告〈HP〉](#)

活動の記録

- 2月 「規格外品」という言葉の定義づけ
- 3・4月 販売ターゲット・ストーリーの決定
- 7月27日 山形県河北町への訪問
 - ・ 28日 （訪問先は まきの農園・阿部産業・B&V など）
- 10月27日 二子玉川ストリートマーケット
 - ・ 28日 「ふたこ座」への初出店
- 12月18日 「ふたこ座」への2回目の出店
 - ～21日



成果・結果

- ・ 1泊2日で町を訪れ、直接町民と交流した
- ・ 年に2回出店し、河北町の特産品や農産物を販売した
- ・ 規格外の山形県産果物の果汁が使用されたサイダーを販売した



年初に掲げた「年内に2回出店する」という目標を達成することができたのは、プロジェクトを当初から支えてくださるNPO法人空き家サポートネットワークのみなさんをはじめ、河北町に暮らす方々やイベントでお会いしたみなさんのお陰です。この場を借りて、厚く御礼申し上げます。来年は、今年より出店回数も売上も増やすことが目標です。河北町のPRと「規格外品」の削減。この両方をいかに満たしていくか試行錯誤しながら、この「Ka'HOKU」（かほく）というブランドの確立を目指す。そんな1年にします。

文責：小野 佑真（チームリーダー） 三富 陽花（サブリーダー）

全国の団体をまとめた
サイトを作る

フードバンクー一覧の作成

全国のフードバンクが一覧できるサイトの制作をおこなっています。
また、現場の活動への理解を深めるため、時折各地のフードバンクに足を運んでいます。

チームの概要

チーム名 フードバンクー一覧

メンバー数 3人（2025年12月29日 現在）

活動場所
・ オンライン
・ 全国各地のフードバンク

活動の目的・目標

- ・ フードバンクの周知
- ・ フードバンク同士のネットワーク構築

リンク集

[チーム紹介](#) [全国のフードバンクー一覧](#)

活動の記録

2月 NPO法人フードバンクネット西埼玉投稿

3月 特定非営利活動法人フリースタイル市川投稿

4月 特定非営利活動法人FUKUSHIMAいのちの水投稿

5月 サイトやマップの作成手順をまとめた「マニュアル」の制作

6・7月 現地のボランティアに参加（大阪・神奈川：計3団体）

11月 食品ロス削減に関係する団体の種類をまとめたマインドマップの制作

- ・ 新しく3団体の情報を掲載した
- ・ 現地のボランティアに参加した
〈大阪〉日本もったいない食品センター
〈神奈川〉フードバンクかながわ・フードバンク浜っ子南
- ・ 活動で使うマニュアルやマインドマップを制作した



今年は一覧の作成自体はあまりおこなえませんでした、その分マニュアル制作や、「食品のロス」に関しての実態を深く知っていった1年だったと思います。

来年はチームの方針を再構成して、少しでも多くの方に「食品のロス」の活動について知ってもらえるように尽力していく所存です。

文責：吉井 隆貴（チームリーダー）

本資料（添付画像を含む）の著作権は、一般社団法人GRAFに帰属します。また、無断での資料の複製・頒布を固く禁じます。

食料支援の現場の声を、伝える

インタビューの実施

全国各地の食料支援に携わる方々にオンラインでインタビューを敢行し、その想いや取組を記事にまとめることで、インターネット上で情報の発信・拡散をおこなっています。

チームの概要

チーム名	インタビュー
メンバー数	3人（2025年12月29日 現在）
活動場所	オンライン

活動の目的・目標

- ・インタビューを年間6回実施する
- ・情報発信を通して、フードバンクの存在を世の中に広める

リンク集

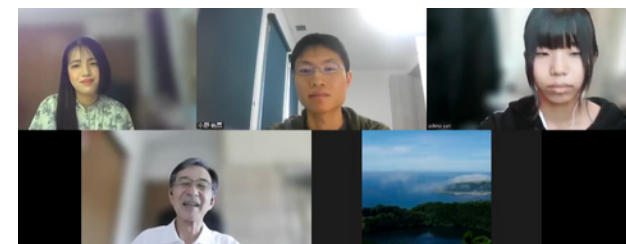
[チーム紹介](#) [インタビュー記事〈リスト〉](#)

活動の記録

1月22日	もったいないジャパン	インタビュー実施
2月5日	フードバンクイコロさっぽろ	インタビュー実施
3月17日	フードバンクイコロさっぽろ	記事公開
3月26日	フードバンクネット西埼玉	インタビュー実施
5月1日	フードバンクネット西埼玉	記事公開
5月7日	セカンドハーベスト名古屋	インタビュー実施
5月8日	フードバンク浜っ子南	インタビュー実施
6月27日	もったいないジャパン	記事公開
7月3日	セカンドハーベスト名古屋	記事公開
7月10日	浜っ子南	記事公開
7月25日	食・支援ネット	インタビュー実施
8月31日	食・支援ネット	記事公開

成果・結果

- ・6団体に取材し、記事を投稿できた
- ・全ての記事を修正し、より読みやすく整えることができた
- ・子ども食堂のリストアップをおこなえた



6つの団体に取材をしたことで、各団体の活動への想いや支援の形の違い、共通して抱える課題などを具体的に把握することができました。また、定量目標を早いペースで達成できたため、残りの期間を使って、取材を通して見えてきた課題の整理や過去の記事の修正、今後取材したい方のリストアップに取り組むことができたのも良かった点です。一方で、取材内容のブラッシュアップが十分にできなかったことが課題として残りました。各団体の活動背景や抱える課題を的確に把握できるよう、質問項目を見直したいです。

文責：内野 有梨（チームリーダー）

本資料（添付画像を含む）の著作権は、一般社団法人GRAFに帰属します。また、無断での資料の複製・頒布を固く禁じます。

誰かと食べる、喜びを。

大学生対象の食事会

2月8日、神奈川県立保健福祉大学のサークルと共同で大学生対象の食事会をおこないました。フードバンクからいただいた期限が近い食品を活用し、調理・食事を楽しみました。

チームの概要

チーム名	食事会
メンバー数	2人
共同開催	食育サークル シーラボ☆
活動場所	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン ・神奈川県立保健福祉大学 調理室

活動の目的・目標

- ・家庭から出る食品ロスの削減
- ・「孤食」の課題解決
- ・「食の課題」「食育」の啓発

リンク集

[活動報告 \(Instagram\)](#)

[活動報告 \(PDF\)](#)

活動の記録

- 8月 顔合わせ・大まかなスケジュールの確認
- 9月 開催日や開催場所の決定・目標人数の仮決定
- 12月 何を作るのかについての最終決定・広報や募集方法の最終決定・目標人数の最終決定
- 1月 広報、募集開始・参加人数の決定
- 2月8日 食事会の実施
- 3～5月 振り返り



成果・結果

- ・他団体と「対面」実施の企画を進めるという初の試みを、リモート会議を中心に進められた
- ・食材の準備において、一人当たりの使用量を事前に計算し無駄なく使用した



準備段階では「参加者の確保」や「食材集め」に苦戦し、当初の予定から軌道修正を余儀なくされた部分もありました。しかし、当日は協力して調理をおこなったり、食事中に会話を楽しんだりすることによって、会場がとても温かい雰囲気になり「共食」の効果を実感することができました。参加者が想定よりも集まらなかった上、孤食の解消や家庭系ロスの削減には十分に寄与できなかったことが改善点に挙げられます。今後、この事業を行っていく際には「参加者の確保」や「食材集め」に工夫が必要だと考えます。また、学生だけでなく地域の人も交えて多世代間における食のコミュニティを創造できたらと思います。

文責：三富 陽花（チームリーダー）

おすそわけでつながる
まちとあなた

大学でのフードドライブ

立命館大学にて、茨木市民や大学生から家庭にある余剰食品を集め、大学生に配布しました。
また、食品を寄付してくださった方には「いばくるコイン」を付与しました。

チームの概要

活動の記録

成果・結果

チーム名 フードドライブ with いばくるコイン

5月 企画内容の確定

メンバー数 5人

6月 フードドライブ実施の告知

共同開催 立命館大学 森 知晴 ゼミ

7月1～10日 *まちライブラリーにて食品を回収

活動場所 オンライン
立命館大学 大阪いばらきキャンパス

7月11～15日 *スプラボにて食品を配布

*立命館大学 大阪いばらきキャンパス内にある施設の名称

- ・40個以上の食品を回収した
- ・いばくるコインを周知した
- ・食品ロス削減の意識づけをした



活動の目的・目標

- ・家庭から出る食品ロスの削減
- ・「孤食」の課題解決
- ・「食の課題」「食育」の啓発

リンク集

[チーム紹介](#)

[活動報告〈Instagram〉](#)

[活動報告\(PDF\)](#)

[いばくるコイン〈HP〉](#)



準備から実施までの期間が短い中ではありましたが、メンバー全員が積極的に関与できたところが良かったと思います。ただ、立命館大学生や近隣住民への周知不足は否めず、思ったように食料を集めることができませんでした。今後実施する際には、広報手段を工夫したり、告知の期間をしっかりと確保するなどの対応が求められると感じます。また、団体の理念や目的が十分に達成される活動となるように、それらとの関連性を明確にした後に実際の取組を始める必要があると思いました。

文責：戸根 明香（チームリーダー）

アナログゲームを通じて
「食」を学ぶ

アナログゲームの開発

食品のロスなどの食に関する社会課題の啓発に資するアナログゲームの開発に挑戦しており、「家庭の調理時に発生するロスの啓発」を目的にしたカードゲームを制作中です。

チームの概要

チーム名	ゲーム開発
メンバー数	3人（2025年12月29日 現在）
活動場所	オンライン

活動の目的・目標

- ・家庭内の調理において発生する食品ロスを啓発する

リンク集

[チーム紹介](#) [ブログ<リスト>](#)

活動の記録

- 1月 基本ルールの決定・ブログの投稿
- 2月 ゲームのリアリティ・ブログの投稿
- 3月 減点のルール・ブログの投稿
- 4月 イベントカードの詳細・ブログの投稿
- 5月 レシピの検討・ブログの投稿
- 6月 レシピの検討
- 7月 料理のグループ分け
- 8月 特殊カードの検討
- 9月 進捗の確認
- 10・11月 各カードの枚数
- 12月 今年の振り返りと来年の目標立て・ブログの投稿

成果・結果

- ・ゲームのルールについて決めることができた
- ・ブログの投稿をした



今年は、ゲームルールについて話し合うことができ、決めるべきことを決められた年のように感じます。メンバー全員多忙な中、都度スケジュール調整をすることができ、他の活動とも両立できました。会議準備や各々の意見を事前にまとめておくことで、数少ない会議時間や、実際に会う時間を有意義な時間にすることができました。予想外の作業やトラブルなどの関係で、2025年の目標の一つであった「ゲームを「60%」以上完成させる」ことが叶いませんでしたが、お互いに支え合いながら活動することができました。来年こそ年間目標を全て達成することを目指し、活動をおこなっていこうと思っております。

文責：ゲーム開発 チームリーダー

本資料（添付画像を含む）の著作権は、一般社団法人GRAFに帰属します。また、無断での資料の複製・頒布を固く禁じます。

SNS・チラシなどを介した啓発

分かりやすく
課題を発信する

SNS（主にInstagramとFacebook）に投稿する画像や動画を作成しています。また、イベント等で使用するポスターやチラシ、公式キャラ「ぐらくま」のグッズ制作にも取り組んでいます。

チームの概要

チーム名	デザイン
メンバー数	5人（2025年12月29日 現在）
活動場所	オンライン

活動の記録

- 通年 SNSに投稿する内容の作成
- 5月 チラシ（団体紹介）の制作
- 9月 チラシ（「食品のロス」をまとめたもの）の作成
- 11月～ スライド（活動報告書・団体紹介）の作成

成果・結果

- 本資料の制作を主導した
- 「食品のロス」をまとめたチラシやポスターを作成した
- 団体紹介のチラシやスライドのデザインを刷新した
- 年に40を超える投稿内容を作成した

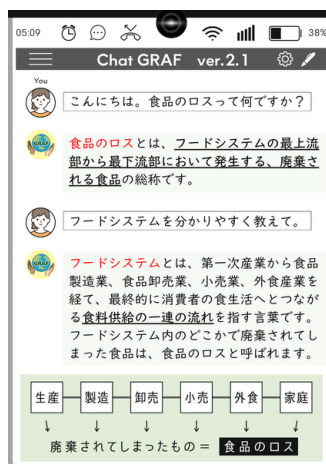


活動の目的・目標

- 消費者の意識を変える
- 食品のロス削減のためのアクションを踏み出すきっかけを生み出す

リンク集

[チーム紹介](#) [Instagram](#) [Facebook](#)



昨年チームのメンバーが増えた中、役割分担を明確にしなが各自制作に取り組めたのが良かった部分です。投稿内容の制作だけでなく、スライド（団体紹介や本資料）の作成・ポスターやチラシ（団体紹介や課題の啓発）の制作・グッズの制作と、様々な「デザイン」を担当しました。来年は、一人ひとりの制作スキルや制作物の質を高めるために、チーム内で「デザイン」を学ぶ機会を創ります。また、制作のルール・マニュアルを整備することで制作物の標準化を図りつつ、制作した人が個性を出せるような体制を作っていきたいと思っています。

文責：小野 佑真（チームリーダー）

本資料（添付画像を含む）の著作権は、一般社団法人GRAFに帰属します。また、無断での資料の複製・頒布を固く禁じます。

捨てられるものに
新たな命を与える

コーヒーかすの利活用

横浜国立大学教育学部 附属特別支援学校の高校3年生と共に、横浜・弘明寺かんのん通り商店街にあるPEACH COFFEEで生じる「コーヒーかす」をアップサイクルする方法を考えています。

チームの概要

- チーム名 コーヒーかす
- メンバー数 5人（2025年12月29日 現在）
- 活動場所
 - ・オンライン
 - ・神奈川県横浜市南区弘明寺

活動の目的・目標

- ・廃棄物を価値ある資源に変える
- ・自分たちからアクションを起こす

リンク集

[チーム紹介](#) [タウンニュースの取材記事](#)
[学校〈HP〉](#) [PEACH COFFEE〈HP〉](#)

活動の記録

- 3月2日 学校とコーヒー店とGRAFの三者が参加するオンラインミーティングを初開催
- 5月9日 授業のコンセプト・年間のスケジュールの確定
- 7月14日 初回の授業実施（計3団体の取材が入った）
- 9月2日 2回目の授業実施（生徒が、夏休み期間に考えたアップサイクルのアイデアを発表した）
- 10月27日 7回目の授業実施（2つのグループに分かれて、製品の試作を始めた）
- 12月15日 年内最後の授業実施（2団体に見学いただく）



成果・結果

- ・11回授業を実施した
- ・HPやSNSで取組を発信した
- ・外部からの見学を受け入れた
- ・地方紙（タウンニュース）や地元のラジオ番組（TO THE NATURE）の取材を受けた



2024年夏からスタートした本プロジェクト。当初、コーヒー店と当法人だけで進める予定だったところに学校が加わったことで、高校生向けの授業をおこなうことになりました。授業のコンセプトやカリキュラムを考えたり、資料を整理したりと、「自分たちからアクションを起こす」という目標の下、プロジェクトをリードできたと思います。関係者から「この授業は、生徒の成長に繋がっている」と評価いただけているのは嬉しい限りです。来年は、本来の目的であるコーヒーかすの削減量を増やせるような新しい取組を考えたり、持続可能な「モデル」を構築したりしたいと考えています。

文責：小野 佑真（チームリーダー） 内野 有梨（サブリーダー）

イベントの記録

2月24日



学生団体交流FES

場所：ハートピア京都
参加メンバー：2人

当日は、各団体の3分間のピッチに始まり、グループセッション、団体どうしの自由交流の時間と進んでいきました。ピッチや活動内容に対して投票がおこなわれた結果、当法人が一番多くの票を集め、見事「最優秀賞」をいただくことができました。たくさんの学生団体と交流でき、とても良い時間になりました。



[主催団体](#)

[詳細を見る](#)

3月2日・8月17日



YouthEconet交流会

場所：3×3Lab Future・協働ステーション中央
参加メンバー：2人・4人

一般財団法人ユースエコが主催するイベントに参加をしました。両日で、プレゼンターとして代表が登壇。データを用いながら、日本の「食品ロス」の概況を話しました。また、グループトークの時間を通して、環境問題や「食品ロス」の原因とそれを解決するアクションを考えることができました。



[主催団体](#)

[詳細を見る〈3月〉](#)

[詳細を見る〈8月〉](#)

9月21日



チャレンジマーケットあきた

場所：秋田市文化創造館
参加メンバー：2人

やってみたいことに気軽にチャレンジするを合言葉に、誰もが実現したいことに挑戦できる機会を提供するも目的で開催されているイベントです。昨年に引き続き、今回も公式キャラ「ぐらくま」のグッズ販売をおこないました。このイベントがお披露目となったステッカーとTシャツに「かわいい!」「ほしい!」という反応があったことが嬉しかったです。



[詳細を見る](#)

イベントの記録

9月28日



起業家・スタートアップ 交流ラボ2025

場所：秋田拠点センター ALVE 1F きらめき広場
参加メンバー：1人

起業10年以内の事業者や起業準備中の方が対象のイベント。当日は、公式キャラ「ぐらくま」のグッズを販売したり、団体の紹介や食の課題をまとめたチラシを配布したりしました。ブース運営の合間にはインタビューを受けたり、他の出店者と交流したりしました。

[主催団体](#)

[詳細を見る](#)



10月21日



食への想いを煮込む会

場所：オンライン（Zoom）
参加メンバー：7人

食彩PROJECTと共同開催した本イベント。「家庭の直接廃棄を減らすにはどうすれば良いか」をテーマに、少人数に分かれてその方法を考えるグループワークを実施しました。各グループの発表後には投票をおこない、一番良い案を決めました。来年度は、2ヵ月に1回のペースで定期的で開催する予定です。

[共催団体](#)

[詳細を見る](#)



10月22日



かほく魅力発信NIGHT

場所：東大 駒場第二キャンパス 食堂コマニ
参加メンバー：1人

イベント名の通り、山形県河北町（かほくちょう）の魅力を伝えることを目的に開催されたイベント。町の職員・地域住民からの発表に交じり、代表が「河北町を訪れた感想」と「現在進行形で動いているプロジェクトの紹介」をプレゼンしました。

[詳細を見る](#)



イベントの記録

10月23日



かほく魅力発信交流会

場所：3×3Lab Future
参加メンバー：3人

河北町がどんな町なのかを知ってもらうことを目的に開かれたイベントです。何といても、目玉は河北町の特産品がふんだんに使われた料理。参加者は、周りとの会話を楽しみながら目の前の料理に舌鼓を打ちました。

食事の途中、代表から団体が進める「規格外品」に関する取組を紹介しました。



[詳細を見る](#)

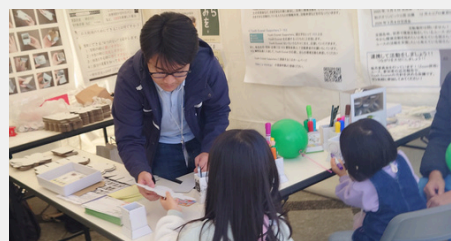
11月22～24日



TOKYOエシカルマルシェ

場所：駒沢オリンピック公園 中央広場
参加メンバー：2人

人や社会、環境に配慮した消費行動であるエシカル消費を体感・体験できることを売りにしたイベント。昨年度に引き続き、一般財団法人ユースエコと「共同出店」という形を取り、グッズの販売やポスターの掲示、チラシの配布をしました。ブースでおこなった「ペン立て工作」が子どもからの人気を集め、3日で100組を超える方に来店いただきました。



[詳細を見る](#)

12月10～12日



エコプロ2025

場所：東京ビッグサイト
参加メンバー：6人

昨年に同様、一般財団法人ユースエコのブースの中でポスターの展示やチラシの配布をおこないました。新たに取り組んだのが「アンケート」です。食品ロスを学ぶチャンネルと、削減のために意識していることを尋ねました。後日、集計結果を公表します。



[詳細を見る〈外部サイト〉](#)

イベントの記録

12月15日

12月20日

東高校PremiumProgram

場所：横浜市立東高等学校
参加メンバー：3人

4年連続4回目の参加となった今回のテーマには選んだのは、「学食」における食品ロス。私たちの授業を選んでくださった1・2年生には、グループワークを通して、学食でロスが生じる原因やそれを解消するためのアイデアを考え、付箋やワークシートに意見をまとめていただきました。



[学校〈HP〉](#)

食品ロス0フォーラム

場所：QUINTBRIDE 1階 メインステージ
参加メンバー：1人

食に関するロスを0にすることを目標に、多様なセクターと協力しながら活動する「関西SDGsプラットフォーム 食品ロス削減分科会 ZERO FOOD WASTE」が主催のイベント。当法人は、4年連続の参加となりました。プレゼンターからの発表を拝聴した後は、他の参加者と名刺交換しながら、交流を深めていきました。



[主催団体](#)

AKISTA主催イベント

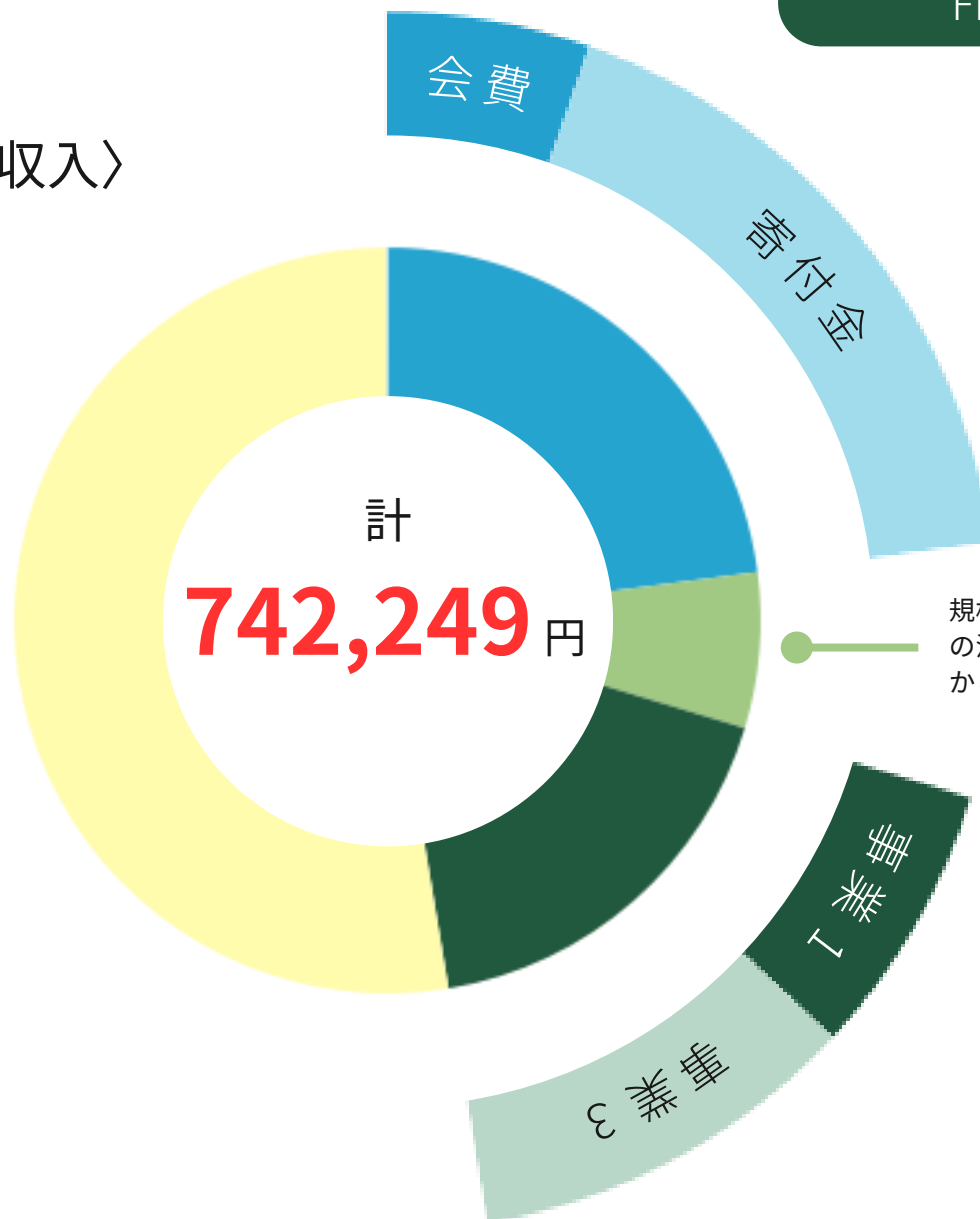
場所：明德館ビル 1階
参加メンバー：1人

「秋田からイノベーションを起こす」をコンセプトに、高校生以上の学生を対象に開催されたイベント。トークセッションには代表が登壇し、ピッチをおこないました。後半のメンタリングの時間で、参加者や先輩起業家から、事業に対して温かいアドバイスをいただきました。助言は、今後の活動に積極的に活かしていきたいと思っています。



財務情報 〈収入〉

- ：個人からの支援
- ：助成金
- ：本事業収益
- ：副業的収益
- ：その他の収益



規格外品の販売（詳細は15ページ）の活動に対して、**アグらむ活動助成**から助成金が付与されました。

本事業収益は、15ページに記載した3つの事業内容および定款に掲げる4つ目の事業内容である「その他この法人の目的を達成するために必要な事業を行う」に即した活動（チームによる各種取組）によって得られた収入のことです。

副業的収益は、法人の目的に直接つながるわけではないものの、活動資金獲得のためにおこなっている活動によって得られた収入のことです。本年度は、業務委託料（他団体のHPの保守・管理・運用を担っています）とイベントで獲得した賞金を計上しています。

財務情報

〈費用〉

その他の経費を含めて **496,020** 円の支出を計上しています

- : 事業内容 1
- : 事業内容 2
- : 事業内容 3
- : その他の事業
- : 団体全体

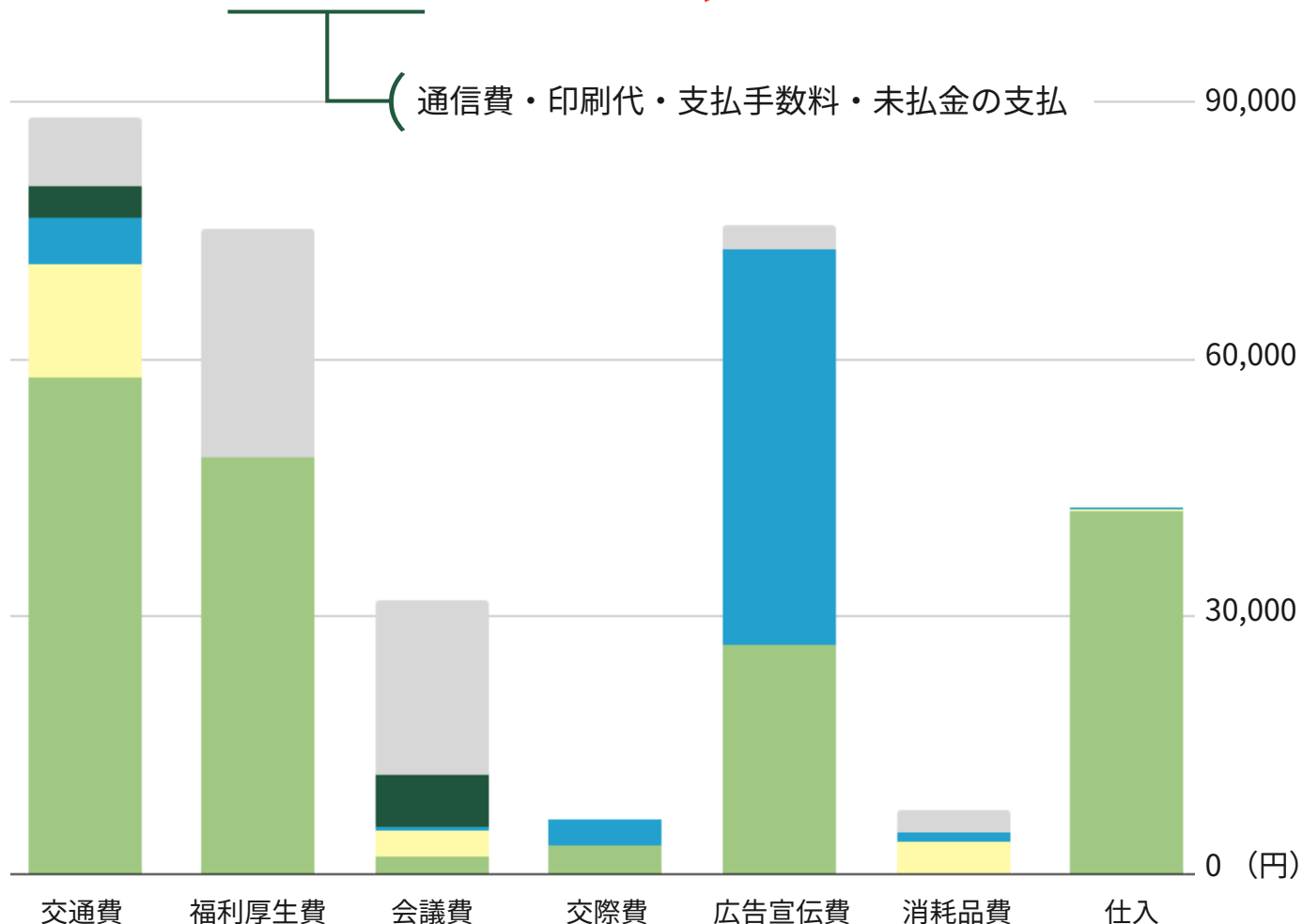
前ページに記載している「収入」との差額は、以下の2つの目的に使用いたします。

次年度の活動資金

新たなプロジェクトの立ち上げや、各チームの活動を継続・発展させるための投資として活用し、社会的インパクトの増やします。

未払金の完済

現在残っているおよそ10万円の未払金。これを次年度中に完済し、財務の健全化を達成します。





グラフ

一般社団法人GRAF

活動報告書

2025年度版

資料作成 担当者

小野 佑真（おの ゆうま）

清水 愛依（しみず あい）

岡野 直樹（おかの なおき）

吉井 隆貴（よしい りゅうき）

三富 陽花（みとみ はるか）

内野 有梨（うちの ゆり）

戸根 明香（とね あすか）

一般社団法人GRAF（グラフ）

Mail（団体）：info@graf0523.com

Mail（代表）：yuma_ono@graf0523.com

団体HP：<https://graf0523.com>

公式Instagram：<https://www.instagram.com/graf.0official>

お問い合わせフォーム：<https://forms.gle/uRFvJzAtD7zx9kqB7>



HP



Instagram



X